

プログラム

開場 13:10～ 開会 13:30

総合司会 栗原 健 一般教育部准教授 大学宗教センター長

☆オープニング演奏 本学学芸学部音楽科 学生有志

【ピアノ独奏】

【メゾソプラノ独唱】

J.S.バッハ

A.H.マロツテ

主よ、人の望みの喜びよ

主の祈り

メゾソプラノ

濱田 真由 (音楽科4年)

ピアノ

菊森 愛 (音楽科4年)

開催にあたって 「キリスト教主義女子大学の建学の精神」

宮城学院女子大学 学長 長谷部 弘

基調講演

「キリスト教主義の女子教育史：

なぜ女子ミッション・スクールは名門女学校になったのか？」

佐々木啓子

国立大学法人 電気通信大学 名誉教授 (女子高等教育史)

討論者 小羽田誠治 一般教育部 教授 (東アジア近代史)

〈休憩〉 参加者の質問受付

パネルディスカッション 「女子大学の魅力－歴史と現在」

パネリスト

佐々木啓子さん

遠藤琴里さん (2020年度学芸学部日本文学科卒・宮城県角田市出身)

小羽田誠治

コーディネーター

天童睦子 (本学名誉教授：ジェンダー論, 教育社会学)

閉会挨拶



佐々木啓子 国立大学法人電気通信大学 名誉教授 津田塾大学卒、子育て期に大学院に進む。東京大学教育学研究科にて教育社会学を基礎学問として、歴史社会学を専攻。特に戦前期の女子高等教育史を探究。博士 (教育学)。代表作に『戦前期女子高等教育の量的拡大過程—政府・学校・生徒のダイナミクス』(2002 東京大学出版会) など。女子高等教育における学校文化、教養教育、家庭の文化資本に詳しい。近年、女子の海外留学や、女子ミッション・スクールの歴史的展開の研究を推進している。